

# 環境農業新聞

メール:ecoagri@pure.ocn.ne.jp

2014年(平成26年)

2月28日(金)

第146号

毎月30日発行

平成13年4月17日

第三種郵便物認可

発行所 環境農業新聞社  
編集発行人 成瀬一夫  
東京都葛飾区東金町1-41-9  
〒125-0041 フランス堂ビル3階  
電話 03-3826-5212  
FAX 03-3826-5217  
年間購読料 3,000円(税・送料込)  
郵便振替口座 00150-2-290578

## 環境農業新聞購読方法

年3,000円

毎月30日発行

FAX、メールでお申し込み下さい。

郵便振替口座 00150-2-290578

## インナーチャイルドを癒す言葉のレメディ

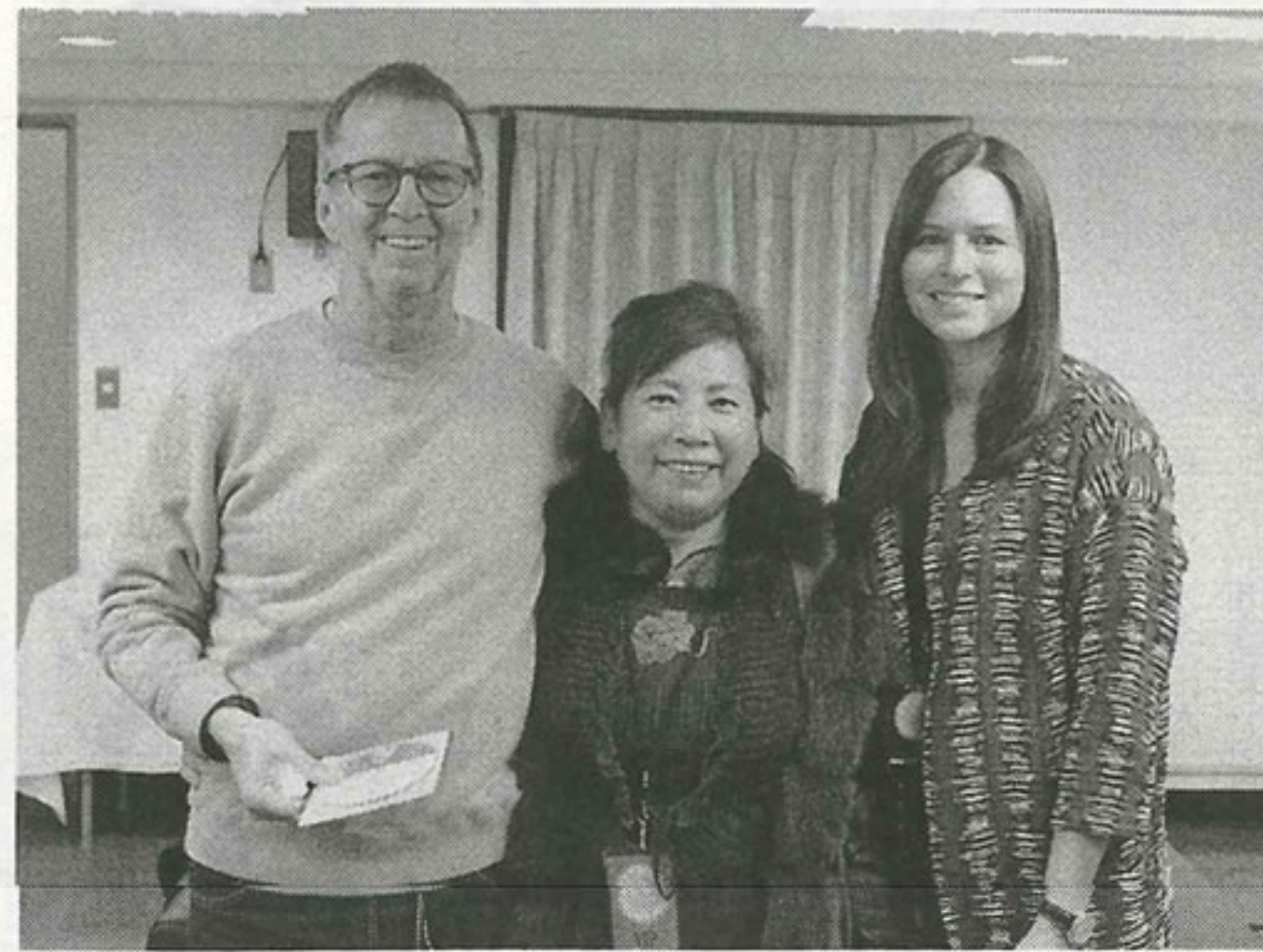
### 相手を癒すことが可能

#### 大物ミュージシャン クラプトン氏に詩を

「インナーチャイルド」について前回引き続き紹介する。今回はホメオパシーのレメディだけでなく、言葉のレメディ。農業生産法人日本豊受自然農(株)代表・農民、日本ホメオパシー医学協会JPHMA会長である由井寅子さんに聞いてみた。

由井代表は語る。インナーチャイルドを癒すには、ホメオパシーのレメディだけでなく、言葉のレメディも大切になってくるのです。それは、世界中に熱狂的なファンを持ち、「ギタの神」と称えられる超一流のミュージシャン、エリック・クラプトンとの出会いであった。今年69歳になり今回の最後のライブツアーを表明しているクラプトン氏は、由井代表の豊受自然農で製造販売されている「ほめ補酵素」の愛用者であり、このツアーの最中でも「ほめ補酵素」を

欠かさずとって体調管理を整えているという。さらに、今回のツアーで来日で、由井代表の豊受自然農園を家族と訪問し、由井代表との面会、家族との農場体験をおおいに楽しみにしていたようだった。しかし、残念なことである40年ぶりの大雪で訪問ができなくなりました。豊受訪問が実現しなかったが、クラプトン氏は今回、東京武道館でのコンサートに由井代表を招待してくれた。



武道館の楽屋でクラプトン氏に会う由井寅子代表

由井代表が楽屋へ向かって歩いていくと、演奏を終えたばかりのクラプトン氏が「TORAKO」と叫んで駆け寄って来てくれたという。そんな彼について調べてみると、その波乱万丈の経歴に衝撃を受けた。薬物依存症、アルコール依存症、交通事故、胃潰瘍、離婚を経験し、4歳の息子が高層マンションから転落死するという

君はいつばいの人々から愛されていることを大自然の母から抱かれ愛されていることを弱く感じるために不幸に見舞われている。本当に、彼はよくぞ立ち直ったものだと思える。それまでの道のりはあまりにも辛く、険しいものだったに違いない。彼のそうした辛さを知る由井代表は、自作の詩(英訳版)をプレゼントした。その詩を紹介させていただきます。

『エリックに捧げる』  
君は強く生きて来たこと  
君の目に涙が一杯になっ  
たあの時も  
決まって涙を流さなかつ  
たことを  
君の心が張り裂けそうな  
ほどの寂しさを味わって  
いる時も  
何事もないうりをしてい  
たことを  
君はもうじゅうぶん頑張  
った よくやった

さあ本当の自分の弱い顔  
を見せてごらん  
さあ正直に苦しかったと  
言ってみてごらん  
さあすなおに涙を流して  
ごらん

知っているんだよ  
いつも本当の愛を求めて  
いたことを  
そしてがっかりしないた  
かもしれない。

クラブトン氏と彼の妻  
はこの詩を読んで「泣い  
て来る」と言っていたと  
いう。

「これが言葉のレメ  
ディ」なのです。相手  
の辛さ、苦しみを、自分  
の辛さ、苦しみを、愛  
をもって理解し、その辛  
さや苦しみを言葉にして  
あげるのです。そのとき  
相手のインナーチャイル  
ドは癒されるのです」  
さらに由井代表はこう  
続ける。

「この詩は、インナー  
チャイルドに傷ついでい  
るすべての人に捧げた詩  
でもあるんです」  
エリックの詩を授業で  
紹介したところ、生徒か  
ら次のような感想が寄せ  
られている。

「今までの授業の中で  
一番泣きました。エリッ  
クさんの心の痛みに共感  
したこと、そんな彼を由  
井先生が癒していること  
から、私の心も緩んで涙  
が流れたように思いま  
す」

今回、由井代表とクラ  
プトン氏との話を聞いて  
、私の心も不思議な温  
かさで満たされるのを感じ  
た。言葉のレメディ  
で私自身のインナー  
チャイルドも癒されたの  
かもしれない。

## 三月十五日(土)

開場... 九時  
講演... 十時~十七時

## 十六日(日)

開場... 八時三十分  
講演... 九時~十六時三十分

参加費... 一日参加 一般 六千円  
主催、会員 五千円(協賛、後援団体)  
両日参加 一般 一万二千円  
主催、会員 九千円(協賛、後援団体)

会場... 西陣織会館 五階特設会場  
(京都市上京区)

私たちは、東日本大震災の被災地に様々な物資をもって震災の一週間後、三週間後、と合計四回ほど行きました。その度に痛感したことは、みな求めていたものは何よりも水と新鮮な野菜だったということ。災害のみならず世界情勢が不安な昨今、あらためて日本の農業を立て直さないと有事の際に大変なことになると思えました。今、この日本の食や農業には様々な問題があります。種の問題、F1遺伝子組み換えや農薬・肥料による弊害は深刻です。できあいのお惣菜には、化学調味料や防腐剤などが添加物が入ったものが多く、

## 第二回 日本の農業と食シンポジウムin京都

# 人々を生かす日本の農業

## 自然な農業と自然な食

主催 日本豊受自然農株式会社 NPO法人 元氣農業開発機構

日本ホメオパシー医学協会



由井寅子  
日本豊受自然農  
株式会社代表・農民  
日本ホメオパシー医学協会  
JPHMA会長



成瀬一夫  
NPO法人  
元氣農業開発機構  
幹事長



小谷宗司  
NPO法人  
自然科学研究所  
理事長



岩元睦夫  
元農林水産省  
農林水産技術会議  
事務局長



小名木善行  
国史研究會代表  
ブログ「なすさんの  
ひとりごと」主宰



吉岡健生  
日本豊受自然農  
農民



米丸輝久



吉田誠



田中澄人  
JPHMA  
認定ホメオパス

越してください。また、当日はホメオパス(ドイツの自然療法、ホメオパシーの治療法)による難病の症例発表も行います。私たちの望みは、みなさんが自然農をやるようになることです。みなさんが心も体も健康に生きていることです。そして、自分自身の目的を達成できるように、その架橋となるサポートを心から願っています。みなさまのこ来場を心よりお待ちしております。